

「シェアリングエコノミー」を 地域課題の解決に活用するために

平素は、当研究所の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

毎年8月に開催している特別シンポジウムでは、未来を見据えたまちづくりのヒントになるテーマで開催していますが、今年のテーマは「シェアリングエコノミー」です。

最近、生活や産業の様々な場面で「シェア」がキーワードと言われています。昨年11月には「島原市」「多久市」「浜松市」「千葉市」「湯沢市」の5市が共同で「シェアリングシティ宣言」を行うなど、「シェアリングエコノミー」を積極的に展開・活用する自治体も出てきています。また、本年1月には内閣官房に「シェアリングエコノミー促進室」が設置されるとともに、「未来投資戦略2017」には「シェアリングエコノミー活用地方公共団体の事例を平成29年度中に少なくとも30地域で創出する」と記載され、国としてもシェアリングエコノミーを推進する姿勢を打ち出しています。

このように、いろいろな動きは出てきていますが、「シェアリングエコノミー」について、よくわからない、理解できない部分も多くあるのが現状です。

- ・「シェアリングエコノミー」って言われてもよくわからない。
- ・「カーシェアリング」「シェアハウス」「ワークシェア」ならわかるが……。
- ・既に個々に行われている取組を「シェアリングエコノミー」として括っているだけなのか。
- ・「シェアリングエコノミー」は本当に地域に役に立つのか。行政としての関わり方が難しい。

そこで、今回は「シェアリングエコノミー」とは何か、「シェアリングエコノミー」が地域づくりにどのように役に立つのか、「シェアリングエコノミー」と自治体施策との関係性をどのように考えるべきなのか、みなさんとともに知る機会、考える機会として今回のシンポジウムを企画しました。

ご多忙のことと存じますが、お誘いあわせの上、多数のみなさまのご参加をお待ちしております。

日時 平成29年8月22日(火) 13時30分から17時(開場13時)

会場 アイリス愛知(名古屋市中区丸の内2-5-10)2階「コスモス」

内容 **講演① 国による「シェアリングエコノミー」推進の考え方**
内閣官房シェアリングエコノミー促進室 企画官 高田 裕介 さん
講演② 「シェアリングエコノミー」を活用した地域課題の解決方法
シェアリングエコノミー伝道師 石山 アンジュ さん
(一般社団法人シェアリングエコノミー協会 株式会社クラウドワークス)
講演③ 佐賀県多久市における「シェアリングシティ」としての取組事例
多久市 商工観光課 商工観光係長 石上 涼子 さん
※多久市長は公務のため、参加いただけなくなりました。

ミニワークショップ 講師の方と会場のみなさんと一緒に、「シェアリングエコノミー」について考え、語りあいます。

※シンポジウム後の17時30分から、講師の方も交えた交流会を開催します。

参加費 無料(交流会に参加される方については、参加費1,000円を徴収させていただきます。)

参加者 どなたでもご参加いただけます。事前に参加申込みをお願いいたします。

石山アンジュさん

シェアリングエコノミー協会事務局としてPR活動を行うとともに、株式会社クラウドワークスの経営企画担当として、政府9府省、40自治体との連携施策を通し、クラウドソーシングを通じた地域の就業機会の創出、オープンガバメントによる地域産業振興等を推進。代表例に宮崎県日南市「月収20万円ワーカープロジェクト」、兵庫県神戸市「働き方改革推進支援」など、クラウドソーシングを活用した新しい働き方の普及に寄与。全国自治体の講演実績多数。

佐賀県多久市

佐賀県のほぼ中央部に位置する人口約1万9千人の市。昨年11月には「島原市」「浜松市」「千葉市」「湯沢市」とともに「シェアリングシティ宣言」を行い、民間事業者と連携して、地域課題の解決に取り組んでいる。

現在の取組の中心は、多久市ローカルシェアリングセンターを中核として、「地域で働く」を実現させること。働きたいが働けない人への在宅でもできる仕事の提供、若者子育て世代やITリテラシーの低い高齢者に対するクラウドソーシングによる仕事の提供などを行っている。また、「クラウドワーカー育成プログラム」を開催し、インターネットを通して個人が企業などから仕事の発注を受けるクラウドワーカーの育成を行っている。

お申し込み・問い合わせ

- 下の申込書にてご記入いただきFAXで送信していただくか、
申込書にある必要事項を記入してE-mailでお申し込みください。【**申込期限：8月18日（金）**】
- 申込み先／問合せ先 一般社団法人 地域問題研究所（担当：春日）
電話：052-232-0022 / FAX：052-232-0020 / E-Mail：sympo@chimonken.or.jp
※ご記入いただいた情報は、本シンポジウムの運営のみに活用させていただきます。
※定員超過など、ご参加いただけない場合のみ、こちらから連絡させていただきます。
連絡のない場合は、当日、直接ご来場ください。

地域問題研究所 市町村ゼミナール・特別シンポジウム 参加申込書

申込期限：8月18日（金）

FAX：052-232-0020
E-Mail：sympo@chimonken.or.jp

所属団体名	
電話番号	
FAXまたはE-Mail	

所属部課 (役職)	ご芳名	参加申込み(○印をつけてください)	
		シンポジウム 13時30分から 参加費無料	交流会 17時30分から 参加費1,000円
()			
()			
()			
()			